平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	かわごえ異業種体験研修							継続	
コード	24	－	89	－	02	－	03	予算事業名	特色ある学校づくり支援
担当部署	学校教育部		学校管理課			校種間連携担当		予算事業コード	会計 10 款 10 項 01 目 02

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）　位置付けなしの場合 無　　法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)			実施計画事業名	なし
方向性(節)			個別計画等の名称	平成25年度かわごえ異業種体験研修実施要項
施策				
細施策			当事業に関連する事務事業	なし
事業実施の根拠となる法令・条例等				

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	幅広い教員の資質が求められている今日、教員以外の職を直接体験することにより、再度教育観を見直し、多面的で柔軟な教育指導ができる教員の育成を目指す。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	校長の推薦を受け、川越市教育委員会が決定した教員が夏季休業中の5日間、企業での体験研修を行う。各年度の研修参加人数は9～10名とする。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		0	20	20	15	15	10
（25年度予算額大幅増／減の理由）							
事業費	A	0	13	13	9	9	10
人件費	B	734	734	734	734	734	734
総コスト（C＝A＋B）		734	747	747	743	743	744
正規職員（1年間の従事人数）		0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員（1年間の従事人数）							
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担（＝C－D－E）		734	747	747	743	743	744

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値	
成果	研修生人数	人	9	10	10	9	9	26年度	9
	指標の定義・説明		かわごえ異業種体験研修に参加した教員数						
成果	研修生派遣校数	校	9	10	10	9	9	26年度	9
	指標の定義・説明		かわごえ異業種体験研修に職員を派遣した学校数						
成果	受け入れ事業所	所	5	5	5	5	6	26年度	5
	指標の定義・説明		かわごえ異業種体験研修において、教員を受け入れ、研修を施した事業所数						
成果	研修日数	日	5	5	5	5	5	26年度	5
	指標の定義・説明		かわごえ異業種体験研修の参加日数						
指標に基づく評価			市立学校全56校のうち9校の参加であり、6年（年1回の実施）ですべての学校から研修生を派遣できる。26年度をもって、2度づつの派遣となる。10～9名の研修生に対して受入事業所数は5事業所で、1事業所に2～1名の研修生を配置でき、丁寧できめ細かい指導をしていただいている。						

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況　必要性に課題

5年経験者研修は介護老人保健施設研修、10年経験者研修ではスーパーマーケットでの社会体験研修を実施しており、多くの中堅教員が学校以外の職場での体験研修を行っており、受研者が重なるなど本事業の独自性が失われつつある。そこで、平成27年度を目途に学校の推進力となることを期待されている中堅教員に対する学校運営研修会の実施を検討している。

(2) 比較参考値（他市での類似事業の例など）

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

ほとんどの教員が異業種体験を行うことから、本事業が廃止されることによる影響はさほどないと考える。
しかし、研修の機会が減ることについては大きなマイナスであり、違った内容・目的の研修に予算措置を願いたい。

平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

<table>
<tr><td colspan="3">所管部署</td><td colspan="2">学校教育部</td><td colspan="2">学校管理課</td><td colspan="2">校種間連携担当</td></tr>
<tr><td colspan="3">事務事業名称</td><td>24</td><td>89</td><td>02</td><td>03</td><td colspan="3">かわごえ異業種体験研修</td></tr>
<tr><td rowspan="3">今後3年間の方向性</td><td>25年度</td><td>継　続</td><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td>26年度</td><td>継　続</td><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td>27年度</td><td>改善（見直し）</td><td colspan="7">5年経験者研修は介護老人保健施設研修、10年経験者研修ではスーパーマーケットでの社会体験研修を実施しており、受研者が重なるなど本事業の独自性が失われつつある。そこで、研修内容を見直し、学校の推進力となることを期待されている中堅教員に対する学校運営研修に移行する。</td></tr>
</table>